

# 第8回 千曲市林業振興協議会

平成24年4月26日（木）

9時30分～11時16分

上山田庁舎 302会議室

## 第8回千曲市林業振興協議会

### 千曲市林業振興協議会出席委員

長野森林組合	更埴支所長	春日	賢一
NPO法人 千曲の森	理事長	唐澤	伊和男
区長会連合会更埴支部	雨宮区長	宮本	敏保
〃 戸倉支部	芝原区長	中村	正光
〃 上山田支部	八坂自治会長	若林	嘉夫
財産区議員	財産区議長	塚田	勝壽
ちくま農業協同組合	営農経済部長	宮坂	直隆
	代理出席	半田	直士
鳥獣保護委員		山崎	文典
長野地方事務所	林務課長	前島	啓伸
千曲市環境市民会議	代表	幸野	耿
千曲市建設業協会	理事	本保	雅規
一般公募		徳永	勝
一般公募		櫻井	信一
一般公募		池田	靖子
一般公募		清水	八重子

### 欠席委員

みどりの少年団育成会	更級小学校長	近藤	博子
------------	--------	----	----

### 出席職員

経済部長	高松	保雄	長野地方事務所	林務課	中山	智明
農林課長	平林	修	〃	〃	高野	毅
森林整備係長	宮尾	憲夫				
森林整備係	五十嵐	健二				
〃	柳町	恵子				

## 《会議の経過》

平林農林課長 本日は、何かとお忙しい中、ご出席いただきましてありがとうございます。これより、第8回千曲市林業振興協議会を開催いたします。みどりの少年団育成会、更級小学校校長の近藤委員さんより欠席の連絡をいただいておりますのでご報告いたします。

唐澤会長にご挨拶をいただき協議を進めさせていただきます。よろしくお願いいたします。

唐澤会長 本日はお忙しい中、ご出席をいただきありがとうございます。  
さっそくではございますが、協議会を開催させていただきます。  
その前に、役職等で委員さんが4月より代わりましたので自己紹介をお願いします。

平林農林課長 本来なら、新しい委員さんへ委嘱書の交付をいたすところですが、お手元の名簿搭載により委嘱状に替えさせていただきますのでよろしくお願いいたします。

(委員・職員自己紹介)

唐澤会長 それでは協議事項に入らせていただきます。  
(1) 千曲市における今後の松くい虫防除対策について  
① 薬剤空中散布説明会について  
② 空中散布に関わる申し出状況について  
事務局より説明をお願いします。

宮尾係長 別紙、松くい虫防除対策事業薬剤空中散布説明会資料・千曲市林業振興協議会資料により説明。

林務課中山専門員 長野地方事務所の中山と申します。私は、上山田庁舎での説明会へ出席させていただきました。その中で、県の責任逃れではないか。指針を決めて市町村が実施するのではなく、県の方で実施できないか。というご意見につきまして、県庁の森林づくり推進課に確認しました。

これにつきましては、国の実施要領等に基づきまして市町村が策定した実施計画に基づいて行われる空中薬剤散布でありますので、県の方で実施する事はございません。国有林につきましては、国の方で空中薬剤散布を実施するケースはあります。

ミツバチに影響があるのではないかと、ネオニコチノイド系につきましては、ニュース等でも情報が出ておりますが、これにつきましては、オランダ、フランス、デンマーク、ドイツ等では使用禁止してございます。

ネオニコチノイド系につきましては数種類の薬剤がありますが、空中散

布で使用しますエコワン3フロアブルにつきましてはミツバチには影響が少ないです。

唐澤会長                    ありがとうございます。ご意見、ご質問等ありましたらお願いします。

〇〇委員                    特にご質問等はございません。意見も前回と同じでございます。

〇〇委員                    本日始めて会議に出席させていただきました。  
質問ですが、すでに空中散布は決定しているのですか。もう一つは、有機リン系の薬剤は使わないで、ネオニコチノイド系の薬剤は使う。その薬剤は、マツノマダラカミキリを殺すのか、マツノザイセンチュウを殺すのかお聞きします。

平林課長                    本日の協議会で皆様のご意見をお聞きして、最終的には市で実施の可否を決定していきます。薬剤につきましては、現在調整しておりますがこの薬剤もスミパインMCと一緒に、マツノマダラカミキリを殺す薬剤です。

〇〇委員                    ありがとうございます。カミキリ虫を殺すのであればミツバチも死にますね。食べ物や放射能、人間の命に関わる事は「疑わしきは罰せず」でやらない事が前提だと思います。しっかり考えていただきたい。  
雨宮地区にも昔は松林も沢山ありましたが、現在は手入れが行き届いていないため雑木が生えていますので、マツタケは出ない状況です。  
松がなくなって、裸山になっても治水上問題になることはないです。子供の事はとても心配なので、できれば止めていただきたい。

〇〇委員                    地元でも松枯れがあります。住民の方々もそれ程関心がないのかなと思います。地元でも質問的にお聞きしてみましたが、空中散布についての批判はございませんでした。子供への影響がありそうだと、確証的なものは出ていないと思いますが、新しい物を開発していただいて害のない生活がいいと思います。

〇〇委員                    薬剤を使うのは、健康上のリスクはゼロではないと思っております。先日、県の果樹研究会がありまして、厚生労働省の方から農薬の問題について説明をお聞きしました。コーヒーでも癌の発生リスクがあると言われていいます。最大公約数の中で散布が出来ればベターではないでしょうか。

〇〇委員                    委員さんが変わる事によって、話が戻ってしまう部分もあります。松くい虫も散布をしなければ不安はゼロに近づきます。それでは、松林が崩壊した場合のリスクは。人間は自然なしでは生きていけない。松林は地域全体で、継続的に防除をしていかなければ守れないと思います。  
上田市では散布をしていない。戦時中飛行機の燃料として松ヤニを取っ

て使っていたという立派な松林が100本ある。空中防除をしないで、樹幹注入を行っている。それでは松林は守れない。坂城町では再開すると聞いておりますが、松くい防除の必要性や理解を深めていただいたと思っております。国・県の基準に沿って周知や安全性に配慮していただいておりますので継続をお願いします。

〇〇委員 エコワンにつきましては、人的に影響があったという報告は少ない。ミツバチへの影響も少ない。以前使用していた薬剤に比べれば軽減されている。中毒にかかったという事例等もあまりないですので、エコワンについては問題ないと認識しています。

〇〇委員 個人の山の持ち主は、自分の山が松枯れになれば市や県へお願いしているのでしょうか。

平林課長 松くい虫対策につきましては、伐倒駆除と空中防除をやっております。両方とも地主さんからのお願いで行っているわけではございません。

〇〇委員 薬については詳しくないですが、薬剤による被害、子供はもちろんですが、昆虫等も再生できるのでしょうか。空中防除は止めていただきたいと思います。

〇〇委員 市が実施する場合は、当然県としてはバックアップをしていく。あり方ですとか実施基準につきまして改定をした所であります。申し出のあった方への対応、ご意見として子供さん達への更なる周知等、個別の対応をしっかりと行って行きたいと思っております。

〇〇委員 当初から出席しておりますが、皆様のご意見をお聞きする中で反対意見がこんなに出たのは初めてだと思っております。前回と同様、空中散布は出来ればやらない方がいいと思いますが、代替案のない現状としまして止めてしまうのは問題があるのかなと思っております。

〇〇委員 薬剤は散布しないでいただきたい。昆虫も大分減りましたし、松枯れは相当増えております。空中散布の効果が認められないです。市でも自然環境を大事にするという意見もございます。市としては、早く方向性を打ち出していただきたい。

〇〇委員 空中散布は止めていただきたい。虫を殺すのはミツバチも死ぬ。子供さんへの影響があるのなら止めていただきたいです。

〇〇委員 (資料の配布依頼がありました。)  
説明会の中で、若いお母さん達は市報はあまり見ないようなので、更級・

上山田地区には全戸配布で影響がなかったかどうかの調査をしていただけないかというお願いをしましたが、その点につきましてはどうなのでしょう。

平林課長

更級小学校、上山田保育園で被害が出ているとのご意見でした。そこで更級小学校、上山田保育園、子育て支援課、教育関係へお話して参りました。その中で、被害が大きいという現状は、認識していませんでした。市の方針としまして、特定の方を対象としました調査は実施する予定はございません。

〇〇委員

実際散布をしている場所は、一番被害を受けやすい所なんです。実際に上田市からその後の松枯れの状況をお聞きしました。増えてはいますが、ごく微増だそうです。散布を止めたからと言って、松枯れが極端に増える事はないそうです。現在の対策につきましては、伐倒駆除、地上散布で対応しているそうです。空中散布で松枯れが無くなったという事例はどこにもない。空中散布は決して効かない。むしろ、健康被害があって空中散布を止めている。今お配りしました資料も、薬剤被害による状況の物です。

薬剤に関して何も知らないで、松くい虫に効くからという事だけでは、子供達に大変な被害が出てしまうという事に認識を持っていただかなければ決定する事にならないと思います。県での実施基準では、健康に関するリスクコミュニケーションをしっかりと図ると明記してありますが、それに関する議論がされていない。

先ほどお配りしました資料に、有人へり松くい虫防除の問題点とコメントと題しまして黒田洋一郎先生がまとめております。

農薬の急性毒性や有機リン系農薬の遅発性毒性で、子供の発達障害や知能低下についてはっきり言っております。急性毒性の起こらない微量の農薬で発達障害が起こる。有機リン系、ネオニコチノイド系の農薬が脳発達の遺伝子をかき乱す。脳発達への毒性試験は行われないので、安全性は保証されていない。

現在千曲市では、発達障害の子が急激に増えている事をご存知でしょうか。その現実を知らずに進めてはいけないと思いますので、第一に議論して頂きたいと思います。

〇〇委員

市で開催しましたリスクコミュニケーションについては、出席された方はほんの数名でした。農薬の基準につきましては、国の認定を受けております。

林務課中山専門員

国の基準の中で農薬に認定されましたので安全に実施する。

リスクコミュニケーションにつきましては、申出のあった方につきましては市の方で対応していく上で、最終的に決定していただく。

農薬につきましては、空中防除だけではなく農作物にも使われておりま

平林課長

す。市の考えかたとして、安全性につきましては、農薬を登録する場合は、農薬取締法による急性毒性やアレルギー性、慢性毒性、そして、神経系に対してのあらゆる毒性試験が要求されております。その中で登録になった農薬につきましては、適正に使用すれば健康に悪影響はないという認識の下に空中防除を実施しております。

〇〇委員

子供達の事を考えると止めた方がいいと思います。昔は松枯れもなかったと思います。健康に害さないで松を守る対策が外にあれば、一番だと思います。

〇〇委員

4月から委員さんが変わり、話が元に戻ってしまった所もあります。空中散布で松枯れは守れない。守るべき松林を決めて、それ以外の場所は空中散布をしていない。放置している状態です。その周辺の松については、マツノマダラカミキリの被害が広がっています。その地域だけ散布をしても、周りから入ってきてしまう。

千曲市で守ろうとしている松は非常に高いところにあります。そこは青々しています。はたしてそれは空中散布のせいなのかどうか。マツノマダラカミキリは700m以下で発生します。千曲市で空中散布をしている場所は、600mから800m以上の場所です。この場所というのは、マツノマダラカミキリの被害が少ない所なんです。伐倒駆除をしていくのが一番いい方法だと思います。松林を守るためには、地域の周辺の被害の受けた松を伐倒駆除する事だと思います。

林務を振興しない限りは、マツノマダラカミキリは無くならない。多くの人たちが山を放置している事が問題だと思います。市民の方にもっと目を向けて頂きたい。

健康被害はないと言いましたが、慢性被害についてはわかっていない。微量の薬剤についてもわかっていない。複合汚染についてもわかっていない。ある薬剤が投入された場合、その薬剤がどのように分解されて、分解の過程でどのような影響があるのかわかっていない。わかった範囲で行った実験の結果を国の基準としている。

空中散布はその地域の虫を全滅させる事が目的です。なぜなら、マツノマダラカミキリは死なないからです。生態系を全滅させるやり方には問題だと思います。本来空中散布はやるべきでないと思います。

前回の会議で、今回生態調査も含めた気中濃度の調査を考えているとお聞きしましたが、その後どうなったのかお聞きしたいです。

林務課中山専門員

県の方での薬剤調査につきましては、千曲市において実施いたします。場所につきましては今後精査していきます。

〇〇委員

各委員さんからご質問等いただきました。今後の方向性としてお話しさせていただきたいと思います。国で基準を設けた農薬等がありますし、協議

していただいた内容、更に、県の実施基準の改正案を踏まえる中で防除的なものをしていただく事がいいのかと思います。

今までの議論を踏まえた中で、実施の方向へあたりましては細かい内容等精査した上で、被害を最小限にやっていただくのがいいと思います。

〇〇委員

皆さんの意見を聞いたうえで、会長さん一人の判断で実施すると決められては侵害です。決をとるなり、誰が反対したという形でやっていただかないと、私も賛成したように言われては困ります。

〇〇委員

皆さんから色々な意見がありますので、内容を踏まえた上で方向性を決めさせていただきます。  
皆さんに問います。多数決にした方がいいと思う方は挙手をお願いします。

(挙手7名)

〇〇委員

環境保護もありまして、日赤の産婦人科の看護師さんが、最近、奇形児や死亡して産まれる子供が非常に多いと言われている。

原因はわかりませんが、人の命に関わる事です。人の命より松のほうが大事なら話は別ですが。

〇〇委員

改めて挙手で決めたいと思いますのでよろしくお願いします。

〇〇委員

この協議会の内容は、挙手ではなじまないと思います。  
皆さんからのご意見をお聞きする場であって、決を取ってどうするのか。

〇〇委員

議長に権限を任していただきたいと思います。  
今までの議論、実施してきた過去の事を踏まえて実施をしたいと思います。  
実施に賛成の方の挙手をお願いします。

〇〇委員

先日の説明会でも人数が少なかったようですが、市は実施する方向で話を進めているのですか。署名運動でもしなければ空中散布は止めないのか。

〇〇委員

実施につきましてはあくまで協議会の声をお聞きした上で、県の防除基準に従って実施します。

〇〇委員

地元で育成懇談会を予定しておりますが、その中で議題として提案し、市民の声を吸い上げた上で実施するべきではないでしょうか。  
実施するのが前提だとしか思っていませんでしたが、様々な意見をお聞きしないといけないと思います。

結論は出たという事なのでしょうか。



〇〇委員

実施する方向性です。決定につきましては市で決めていただきます。

〇〇委員

何名中何名が賛成なのでしょうか。

〇〇委員

挙手につきましては、決定ではなくあくまで参考にさせていただきますのでご理解ください。15名中、8名の挙手をいただきました。

平林課長

〇〇委員

子供たちへの影響について、全然議論しておりません。その点につきましてはどのようにお考えでしょうか。

それを踏まえた上で、判断していただきたいと思います。

〇〇委員

大事な事を決定するのであれば、事前にしっかり知らせていただきたい。

〇〇委員

当初申し上げた通り、本日の協議会の意見を持って決定の可否を決める訳ではございません。皆様方の意見をお聞きして、市の方で決定していきます。

平林課長

唐澤会長

続きまして、③実施する場合の使用薬剤について事務局より説明をお願いします。

(説明)

宮尾係長

ご質問等ありましたらお願いします。

唐澤会長

〇〇委員

ネオニコチノイド系の薬剤は安全という事ですが、昨日も佐久総合病院の先生の所へお話をお聞きしに行ってきましたが、この薬剤の方が拡散性が広い。残留性が長い。微量でも胎児に影響が出る。と、おっしゃっていました。現実には、今子供達に起きている現状をもっと把握していただきたい。10年前は約1割と言われましてが、今は2割近く、障害の可能性があるお子さんがいます。

治山について心配されますが、松より広葉樹の方が土砂崩れを守ります。樹種転換を考えた方がいいのではないのでしょうか。

以上で、協議事項につきましては終了させていただきます。

唐沢会長

その他につきましては、ご説明させていただきます。

平林課長

(説明)

宮尾係長

長時間に渡りご協議いただきましてありがとうございます。

平林課長

次回は秋頃に、現場を見ていただき、林業振興全般につきましてお話申し上げたいと思いますのでよろしくお願いいたします。

本日は大変お疲れ様でした。

(終了 11:16)